

平成29年1月28日（土）に開催された「関東甲信越地区研修会」では、聖心女子大学 教授 河邊貴子先生を講師にお迎えし、演題を「『子どもが真ん中』の保育を目指す～旧くて、新しい課題～」とし、ご講演いただいた。

当日参加者からは、

○『子どもが真ん中の保育』ということの大切さ、重要さを再認識した。

○日々、忙しい毎日だが、子どもたちの将来のために日々の環境づくりを工夫しなければならないことを改めて感じた。

○会員外だが是非講演を伺いたいと思い参加し、幼児教育に大切なことを改めて振り返る機会になった。『チルドレン・ファースト』を常に心に留めて魅力ある保育者になれるように、日々、子どもたちと主に楽しく学んでいきたい。

○子どもの学びに負けないよう、自分の力も高めていきたい。

○園内研のことも悩んでいたもので、具体的なお話が聞けてよかった

…という感想を寄せていただきました。幼児教育の根幹や大切にすべきことを考えるひとときとなりました。

